

第173回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成30年2月23日（金）13:31～14:50

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 長崎大学認定臨床研究審査委員会規程の制定について

理事（研究・国際担当）及び福島千鶴准教授（病院臨床研究センター副センター長）から、資料1に基づき、臨床研究法（平成29年法律第16号）の公布に伴い、国立大学法人長崎大学に長崎大学認定臨床研究審査委員会を設置するため、長崎大学認定臨床研究審査委員会規程を制定することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 長崎大学経営協議会（学外委員）に係る意見聴取について

学長から、現在の経営協議会学外委員の任期は、中村法道委員及び高田明委員を除き平成30年3月31日までとなっており、その後任委員については、長崎大学経営協議会規則第3条第1項第4号により、教育研究協議会の意見を聴いて学長が任命することになっている旨の説明があった後、資料1に基づき、現委員の佛淵孝夫委員、原田庸一郎委員及び矢野右人委員については、委員を交代し、谷口功氏（独立行政法人国立高等専門学校機構理事長）、坂井俊之氏（協和機電工業株式会社代表取締役会長）及び永田泉氏（一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長）の3名を新たに委員として任命すること、また、荒木委員を除く5名の委員については、再任することの提案があり、異議なく了承された。

なお、荒木委員については、今年度末で現職を定年退職することから、現在、後任を調整中であり、次回の本会議で改めて意見を伺う旨の説明があった。

(3) 長崎大学先端計算研究センターの廃止について

理事（研究・国際担当）から、資料3-1及び資料3-2に基づき、長崎大学先端計算研究センターを廃止することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 長崎大学地方創生人材学士プログラム要項の一部改正について

理事（地域貢献担当）から、資料4に基づき、学生の教育効果を考慮し、学士プログラムの修了要件について見直しを行うため、一部字句の整備を含め要項の一部改正について説明があり、審議の結果、了承された。

(5) 長崎大学ライデン大学日本語・日本文化コース規則の制定について

理事（研究・国際担当）から、資料5に基づき、旧長崎大学国際教育リエゾン機構交換留学生プログラム（NUJALP）を新たに長崎大学日本語・日本文化プログラム（JLCP）と長崎大学ライデン大学日本語・日本文化コース（LJC）の2つの独立したプログラムとして運用を開始したことに伴い、LJCに関し必要な事項を定めるため、新たに規則を制定することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(6) 学生の懲戒処分について

（学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開）

4 報告事項

- (1) 平成29年度日本学術会議九州・沖縄地区会議 科学者懇談会及び学術講演会の開催について
理事（研究・国際担当）から、資料7に基づき、平成30年3月1日に開催予定の平成29年度日本学術会議九州・沖縄地区会議 科学者懇談会及び学術講演会について周知があった。

- (2) 第16回長崎サミットについて
理事（地域貢献担当）から、資料8に基づき、平成30年2月19日にホテルニュー長崎において開催された第16回長崎サミットにおける意見交換の概要等について報告があった。

- (3) 長崎大学の共有理念の検討について
副学長（学生担当）から、本学の普遍的で全教職員及び学生が共有できる理念について抜本的変更を含め検討を行うためのWGを設置し、作業を行っている旨の報告があった。

- (4) 「写真発祥地の原風景 長崎」展の開催について
附属図書館長から、資料9に基づき、平成30年3月6日～平成30年5月6日の期間、東京都写真美術館において開催される「写真発祥地の原風景 長崎」展について周知があった。

- (5) その他
副学長（学生担当）から、平成30年3月2日に文教スカイホールにおいて開催予定の長崎大学メンタルヘルス講演会について周知があった。

以上